

事業所における自己評価結果（公表）令和3年度

公表：令和4年3月14日

事業所名 未来サポート ステップアップ

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	3	・中高生のため、10名ご利用だと狭く感じられます。活発に運動するスペースはありません。 ・学習室も利用することで子どもたちを分散させ、少しでも過ごしやすいように工夫しています。
	②	職員の配置数は適切である	0	2	4	・定員10人に対し、指導員2人という国の人員配置基準を満たす人員配置を行っています。今後も継続して一人一人の専門性を高めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	0	・玄関外にはスロープ、トイレには手すりを設置していますが、室内には設置していません。必要に応じて、見守りや介助を行い、安全の配慮に努めています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	0	・PDCAサイクルを心掛け、活動前後で職員ミーティングを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	・今年度は12月に実施しました。評価やご意見を把握し、改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	・自己評価結果をホームページにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	・現在は保護者と事業所の評価のみとなっています。今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4	0	・外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	・利用に際しての見学、契約時に保護者面談を行い、ニーズを把握したり、行動観察を記録を記録し、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	1	・外部で行った検査結果等からも発達状況を把握しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	0	・活動前には必ずミーティングを行い、支援方法や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことができるようにしています。

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	・活動プログラムに偏りが無いよう、季節行事や達成度も考えながら、子ども一人ひとりやグループの特性に合わせた内容を立案しています。 ・長期休暇時には夏祭りやハロウィンなど、季節の行事やイベントを企画し、実施しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・個別の課題、集団での発達状況を踏まえて、個別支援計画を作成しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	・必ず、活動の前後で打ち合わせを行い、支援内容や活動の進め方、子どもの配慮点などを確認しています。今後も十分な時間が確保できるよう工夫していきます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	・短時間ではありますが、その日の気づきや反省点などを伝え合う時間を持つようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	・その日の様子や支援内容、課題点などを毎回記録し、次回の支援の参考・改善につなげています。

	⑱	定期的モニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	・今年度は6ヶ月に1回モニタリングを行いました。今後も必要に応じて、見直しを行っていきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	3	0	・
関係機関や保護者との連携関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	・児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	・保護者を通して情報を得ています。また、送迎時に担任等と情報の共有、連絡調整を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	1	・現在、該当者がおらず、受け入れ体制もありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	・同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者については情報共有ができています。その他の利用者については必要に応じて、情報共有を行っていきます。

関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	0	・同施設内の障害福祉サービス事業所へ移行する利用者については情報共有ができています。その他の利用者については必要に応じて、情報共有を行っていきます。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	2	・今年度は機会がありませんでしたが、必要に応じて連携していきます。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	5	・個人情報やプライバシーの面、コロナの影響等により、現在交流の機会はありません。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0	・担当者が毎回、参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	・電話や連絡帳のやり取り、また送迎時に様子をお伝えしています。保護者の方が気軽に相談できる事業所となるよう努めていきます。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	3	・ペアレント・トレーニングのプログラムは行っていませんが、面談等でお話をする際には対応方法などのアドバイスをしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	・契約時に説明を行っています。また、記載事項の変更については随時書面にてお伝えしていきます。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	5	0	1	・送迎時、面談時の他、随時相談（電話での相談含む）に応じ、助言を行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	・今年度は、新型コロナウイルスの影響により、保護者勉強会の開催を見送りました。来年度は感染状況を見ながら、できるだけ開催できるよう検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	・随時施設長、管理者に報告し、迅速かつ適切に対応するよう努めています。また、以後の対応についても職員全員に周知し、再発防止に努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	4	1	・今年度はお便りを発行することができませんでした。活動概要や行事予定等の情報は日々の連絡帳や電話等でお知らせしていきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	・職員全員、徹底しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	・状況に応じて、口頭、書面、絵など伝わりやすい方法で対応しています。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	・「社会福祉法人きぼう」全体で地域の方にも参加していただける「きぼうまつり」を毎年開催しているが、今年度も新型コロナウイルスの影響により開催できませんでした。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	・マニュアルは「社会福祉法人きぼう」全体で共通したものを使用しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	・今年度は6月に火災訓練、11月に地震訓練（利用者参加）を実施しました。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3	0	・外部の研修に職員が参加したり、職員ミーティングにて事業所内研修を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	0	・現在、身体拘束の必要な子どもの利用はありません。 ・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性、非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合には記録に残すことにしています。また、来年度よりそれらを契約書に記載し、保護者の方に説明させていただきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	0	・契約時に保護者から聞き取りをしています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	・危険な事例があった場合、事例集を作成し、職員全員に報告、回覧を実施しています。

○この「自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。